#### 本論

### 2.1 意味論の意味

Semantics とは日本語で意味論と呼ばれた。意味論とは意味に関するものを学んでいるという意味である(Chaer, 2009:2)。セマンティクは言語学の一つの分野である。杉本(2000:4-176)によるとこの二つの単語から成り立っている、それは意味と論理。意味はある言葉、語句、文章、段落、談話、場面、などについて、理解できるように説明すること。杉本(2000:4-176)によると意味の中には:

- 1. 単語、単語の意味にも色々がある 単語の種類はたくさんある:名詞、形容詞、形容動詞、動詞、連体詞、 接続詞、助詞、副詞、助動詞、間接詞、感動詞、疑問視、擬音語・擬 態語、同義語、類義語、反対し、省略後、関用句、諺、非夕がある
- 2. 語句はいくつか言葉が結合されて、新しい意味を持っている。
- 3. 文章はいくつかの言葉が集まって、文法の上で結ばれて統一された意味を持っている。
- 4. 段落はいくつの文が集まって、統一された内容と意味をもっている。
- 5. 談話はある目的に対して、わぎと作られたぶなるには信号である。
- 6. 場面は状態、様子、場所に合わせたぶなるいは表現である。

### 2.2 擬音語・擬態語

オノマトペとは日本語で擬音語・擬態語と呼ばれた。擬音語・擬態語の意味がたくさんある。小川(1982:302)によると生物の声や無生物の出す音を表わす語を擬音語をいう、このように動作、状態などを音で象徴的に表現する語を擬態語という。

日向(1989:2)によると擬音語、とは外界の音を写した言葉。擬態語は、音を立てないものを、音によって象徴的に表わす言葉。

智(1994:3)によると擬音語は音や声を直接表わすことば、擬態語はものや人のようすを直接ことばという。

日向(1989:1)によると擬音語・擬態語は 擬音語は二種のものに、それは:

- 1. 擬音語、とは無声物の音状態を表わすもの。
- 2. 擬声語、とは生物の声を表わすもの。

擬態語は三種のものがある:

- 1. 擬態語、とは無生物の状態を表わすもの。
- 2. 擬容語、とは生物の状態(動作容態)を表わすもの。
- 3. 擬情語、とは人間の心の状態を表わすようなもの。

### 2.2.1 擬音語・擬態語の分類

智(1994:12-112)によると、擬音語・擬態語は三種類に分類される:

### 1. 人の気持ちや様子を表わす

a. 嫌な気持ち・いい気持ち

例:部長の長い話にはみんなうんざりしている。

b. 興奮

例: どきどきしながら、ホラー映画を見た。

c. 終わったあと気持ち、おどろき

例:トイレに行って、すっきりした。

d. 期待は不安がある様子

例: 恋人から手紙をもらって、井上さんはうきうきしている。

e. 困っている様子

例:弟は、先生にしかられたことを気にして、*くよくよ*している。

f. いろいろな表情や様子

例:あの人はいつも*にこにこ*していて、楽しそうだ。

g. 緊張のない様子

例:女の子たちが話をしながら、だらだら歩いている。

h. 体のひどい状態

例:雨が降らないので、川の水がからからにかわいてしまった。

#### 2. 人の動作や様子を表わす

a. 見る・話す

例:水野さんはインドネシア語がぺらぺらだ。

b. いろいろ動作

例:山田さんはテレビを見て、げらげらわらっている。

c. はやい動作、まじめな態度

例:ヤンさんは用事を*さっさと*かたづけた。

d. 明確な態度や性質

例:中野さんは毎日ちゃんと宿題をやってくる。

e. やり方

例:テストのとき、となりの子の答えをこっそり見た。

f. 変化

例:リンさんは日本語がどんどんじょうずになった。

- 3. 物の様子を表わす
  - a. 光る、ゆれる

例:太陽の光で波がきらきらがやいている。

b. 流れる·落ちる

例:彼女の目から涙がぽろぽろこぼれた。

c. いろいろな音や様子

例:かみなりがごろごろころがした。

d. 乱雑な様子

例:おもちゃを落としたら、めちゃくちゃにこわれてしまった。

e. ひどい様子

例:この家は何十年も住んだので、もう*ぼろぼろ*になった。

f. 味·性質

例:このてんぷらはからっとしていて、おいしい。

g. ねばりけ、湿気

例:あせでシャツがべたべたする。

h. さわった感じ

例:よくみがいたので、右がつるつるになった。

i. 数の多さ・重さ

例:本だなには、辞書がずらりと並んでいる。

# j. 余裕の程度

例:けさの電車はがらがらだった。

次はひろこ (1993:16-97) によると擬態語は以下のように分けられる。

1. わらう

(にこにこ、にやにや、くすくす、げらげら)

2. なく

(えねん、おいおい、しくしく、めそめそ)

3. おこる

(かんかん、ぷんぷん、いらいら、ぴりぴり、がみがみ)

4. はなす

(ぺらぺら、ぺちゃぺちゃ、はきはき、もごもご、ひそひそ)

5. たべる

(ぱくぱく、がつがつ、もぐもぐ、もりもり)

6. のむ

(ごくごく、がぶがぶ、ちびちび、ぐびぐび)

7. みる

(きょろきょろ、じっと、じろじろ、ちらりと)

8. 歩く

(よちよち、すたすた、とぼとぼ、のしのし、うろうろ)

9. 仕事をする

(さっさと、きびきび、ぽりぽり、だらだら)

10. ねる

(うとうと、ぐっすり、すやすや、ぐうぐう、があがあ)

11. たたく

(とんとん、どんどん、ぽんぽん、ぼんぼん、がんがん)

12. まわる・ころがる

(くるくる、ぐるぐる、ころころ、ごろごろ)

13. われる

(ふらふら。ぶらぶら、ゆらゆら、ぐらぐら)

14. 変化する

(だんだん、どんどん、ぐんぐん、じわじわ、くるくる)

15. 物のかたち

(ぎざぎざ、でこぼこ、とけとけ、ぼろぼろ)

16. さわった感じ

(つるつる、すべすべ、ざらざら、ぶつぶつ、かさかさ)

17. ばらばら・がらがら

(ばらばら、ぱらぱら、がらがら、すかすか)

18. きもち

(どきどき、はらはら、しょんぽり、うきうき、わくわく)

19. せいかく~どんなひと?

(しっかり、ぼにゃり、うっかり、のんびり)

20. からだ~かぜかな?

(こんこん、ごほごほ、ぞくぞく、がらがら)

21. からだ~いたい

(ずきずき、がんがん、ちくちく、きりきり、ひりひり)

22. きたない・ひどい

(くしゃくしゃ、ごちゃごちゃ、ぼさぼさ、よれよれ)

23. かるい・うすい

(ひらひら、ふわふわ、ひょいひょい、ぺらぺら)

### 24. きれい

(ぴかぴか、きらきら、つやつや、さらさら)

25. かたい

(かちかち、かりかり、ごりごり、ごわごわ)

26. はやい

(びゅんびゅん、すいすい、ずんずん、ばーっと)

27. おもい、おおきい、おおい

(とっしり、ずっしり、どっさり、たっぷり、ぎっしり\_)

28. 気持ち悪い

(ぬるぬる、べたべた、びしょびしょ、ぐちゃぐちゃ)

29. おそい

(のろのろ、ぐずぐず、もたもた、ながなが)

30. 気持ちがいい

(すっきり、さっぱり、きちんと、すらすら)

31. やわらかい

(ふわふわ、ふかふか、ふにゃふにゃ、ぐにゃぐにゃ)

32. 服をきる

(だぶだぶ、ぶかぶか、ずるずる、きつきつ)

33. こわした!きった!

(ガチャン、バリッ、ボキッ)

34. どうしたの?

(ペこぺこ、からから、くたくた、むかむか、ぶるぶる)

35. りょうり 1~にる、やく

(ことこと、ぐらぐら、ざっと、ジャーッと)

36. りょうり 11~そのほか

(からりと、こんがりと、どろりと、しんなり)

37. りょうり 111~あじ

(こってり、さっぱり、あっさり、すっきり)

38. 天気

(じめじめ、むしむし、ぽかぽか、からりと)

39. 水

(ぼたんと、ちょろちょろ、じゃあじゃあ)

40. 自然

(そよそよ、ざあざあ、しとしと、ぎらぎら、びゅうびゅう、き らきら)

41. 日•煙

(ぽちぽち、めらめら、ぼうぼう、もくもく)

#### 2.2.2 擬音語・擬態語の特徴

擬音語・擬態語が特徴をもっている。そのとくに組織になったのこと、できるだけに現物の声や音などににている。Ratnakantjana(1987:58-61)によって擬音語・擬態語に理性的な関係、本当の自然があり。性格の理性的なは擬音語・擬態語音の意味の目立つに見える。

次のような擬音語・擬態語もよく使われる、智(1994:70-72) によって たとえば笑う様子(70):

a) ぐすぐす : かくれた、小さい声で笑う。

b) げらげら : 大声で笑う。

- c) にこにこ(する):ほほえむ。
- d) にやにや(する): 声を出さないで、いやらしく笑う。
- e) アハハ、ハハハ:大きな笑い声。

#### 眠る様子(71):

- a) うとうと(する):寝る時間でないとき、浅く眠る。
- b) ぐっすり:深く眠る。
- c) ぐうぐう: (いびきをかいて、) よく眠る。
- d) すやすや:赤ん坊が気持ちよさそうに眠る。

### 泣く様子(72):

- a) えーんえーん:子供の大きな泣き声。
- b) おいおい:おもに男性が大声で泣く。
- c) おぎゃあおぎゃあ:赤ん坊の泣き声。
- d) しくしく:女性や子供が静かに泣く。
- e) めそめそ(する):泣き虫が静かに泣く。

#### 2.3 擬態語の種類

日向(1989:1)によると擬態語は物事の状態や様子などを感覚的に音声 化して表現する語。また擬態語は三種のに下位分類されている

### 1) 擬態語

擬態語とは無声物の状態を表すものである(日比谷、1989:1)。 たとえば:きらきら、ざあざあ、ぴかぴか

#### 2) 擬容語

生物の状態「動作容態」を表すものである(日比谷、1989:1)。

たとえば:つるつる、ごつごつ、びしょびしょ、ぐっすり

### 3) 擬情語

人間の心の状態を表すようなものである(日比谷、1989:1)。

たとえば:ひやひや、どきどき、いらいら

# 2.4 [パパとムスメの7日間]のドラマ

パパとムスメの7日間 と呼ばれた。このドラマは小説から喜劇映画である。パパとムスメの7日間のドラマは2007年7月1日から2007年8月19日まで13リリスした。このドラマがTBSに上映した。エピソードの1は30分28秒、エピソード2は」29分42秒、えぴそーど3は24分48秒、エピソード4は21分56秒、エピソード5は23分47秒、エピソード6は22分57秒、エピソード7は23分31秒、エピソード8は22分58秒、エピソード9は23分30秒、エピソード10は21分59秒、エピソード11は24分03秒、エピソード12は22分26秒、エピソード13は46分24秒間である。

このドラマの原作者は地歩渡辺である。重役は間矛高鳴りと件吉田である。 役者は新垣結衣が娘の川原小梅になる、それに舘ひろしがパパの川原恭一路 になる。ドラマとは一形態の分を表現役者に上映する。

このドラマの主役は川原小梅、17歳高校二年生と、パパ47歳計商品サラリーマンという。パパとムスメはしばらくはなしもしてなかった。ある日パパと小梅ちゃん電車で事故した。気づいたらパパと小梅ちゃんの体を切れ変わた。本当のこと話しったら頭が変になったと言いう。ママにも誰にも絶対に内緒仕方なくもっと戻るまで。パパと小梅ちゃんは生活空間してしかも大好きな健太先輩との初デートまでと大嫌いぱぱにお任せることになちゃった。

どう亜言ったものは、小梅ちゃんはやっぱりパパにお任せるなって無理といたと言う。パパと小梅ちゃんは生活空間して。しかも大好きな健太先輩との初デートまでと大嫌いパパにお任せることになった。小梅に恋愛感情を持っており、デートに何度も誘った。礼儀正しい好青年で恭一郎を尊敬している。小梅(パパ)は大杉健太に片思い中で、デートに誘われ喜んでいた。学生時代にはラグビー部と映画研究会に所属していた。

パパ(小梅)会議等を通じ大人の大変さなどを理解し、元に戻ってからは仲良くなった。会社でパパ(小梅)は誰でもしらなかったから、みんあのこと説明する髪がもらった。

入れ替わったパパと娘が乗り切らなきゃならないでっかいかべ。それは、 社著とぜいん役員をまえにしたそれは、社著とぜいん役員をまえにした。そ んな私たちが入れ替わって一週間.今までもなんとかあまくやってくれてた小 梅ちゃんと思う、だけど小梅ちゃんはパパとの役職をやぶった。

# 2.5 [パパとムスメの7日間]における擬態語

会話は、面白の部分を日本語で、それから日本人と大切な通信する。

日本語にはこの酔うな擬音語・擬態語がたくさんある。「パパとムスメの7日間」のドラマの中でたくさん擬態語を使ってる。擬態語は百ぐらいある。とてもたくさんあるから、この研究するのはエピソド9から-13まで分析する。20種ぐらい擬態語がある。それはさっさと、しっかり、ちゃんと、すっかり、うんざり、きちんと、ダラダラ、とっとと、メチャメチャ、バリバリ、ハッキリ、メチャクチャ、ハラハラ、スッキリ、どんどんがある。同じ擬態語もあるし。

擬態語の書き方は違うを使用である。ひらがなを書いてあるし、カタカ

ナも書いてある。漫画で書いてあるカタカナがアクセントとはっきりという

意味。それに柔らかい音や声などひらがなを使用という意味。

2.6 分析

ある日、小梅の祖母(恭一郎の義母)の家を訪ねて自宅に帰る最中、二人は

事故に巻き込まれてしまう。病院で目が覚めると二人は人格が入れ替わって

しまった。パパの名前は(河原恭一郎)とムスメの名前は(川原小梅)、二

人は心が入れ替わった。小梅は(パパの体に入って)、パパは(小梅の体に

入った)。

「パパとムスメの7日間」のドラマにおける擬態語の意味のデータ分析

1. さっさと

さっさとの意味はすぐ決心して、むだなく、すばやく動作をする子(阿久、

1994:54) 。

会話(1)

ある日、パパの携帯電話に西野さんから電話がかかった。

電話が切れなとき...

理恵子ママ : 誰なの?

パパ(小梅):会社の部下

理恵子ママ :部下って誰?

パパ(小梅):中島

ママ:小梅、二階部屋に行きなさい、さっさと…自分の部屋に行き

なさいッ

小梅 (パパ):はい

ママ:パパ...

パパ(小梅):「どうしようこういう分野未経験」

ママ: スーツのポケットに入れてった、西野さんって人の?

パパ(小梅):いッ いや 違う ウンッ

西野さんは落ち込んでいた時に優しくしてくれた。パパ (恭一郎) が自分 のことを好きなのだと思い込んだこと。西野さんは恋にはかなり積極的。

パパの携帯電話が鳴った、それは西野さんから電話をかかた。でも、パパ (小梅) はうそ返事を言って、部下からとうそを言った。パパ (小梅) うそ 顔をみえたから、ママは怒ってなってくる。小梅ちゃん (パパ) はその状態 がしてるとき、何かあったことをしりたい。でもママはパパ (小梅) に怒ってるから、小梅ちゃん (パパ) にさっさと二階の自分の部屋に早く行きなさいと言った。

この会話では擬態語「さっさと」は早く自分の部屋に行きなさいという意味である。さっさとは早くよつぐという同じ意味である。

#### 2. しっかり

しっかりの意味しっかりの意味は確実で安心できる様子。「~している」 の形で信頼できる実を表す(阿久津智、1994:59)。

### 会話 (2)

パパ(小梅):パパ パパ

**小梅(パパ)**: 今後のプランをパパなりに考えた、これ見て指元

出してくれ

パパ(小梅):今日の三者面談、私はやっぱり行くよ

**小梅(パパ)**: いやッ 面談は心配するな、パパが しっかり

やっておくから

小梅が考えたいる「この挋否り方 やっぱり怪しい」

ママ: 小梅今日着ていく服 これでいい? うんいいんじゃない

**パパ(小梅)**: ていうか 、こっちの方が今年っぽくない?

ママ : そうだね ママもこっちが好き 、へ!何でそんなこと

知ってるの誰か若い子にレクチャーされたの?

パパ(小梅):全然…違うよ~

小梅(パパ)、学校の勉強はもうおぼえない。試験は 0 点ばかりもらった。 そのために先生は小梅ちゃんの両親を面談に呼んできた。パパ(小梅)は面談に行きたいが、勉強に頑張らなかったから、千部 0 点もらった。小梅(パパ)はパパ(小梅)に がっかりさせるの事が怖い。だから「面談のことが心配しないで、しっかりやっておくから」と言った。

この会話では擬態語「しっかり」はとよくできてなどの同じ意味である。

#### 3. ちゃんと

*ちゃんと*の意味は基準や規則にあっているようす。確実でまちがいがない 様子(阿久、1994:59)。

# 会話(3)

美佳:小梅、ミサンガ作ってる?健太先輩の...

小梅(パパ):ミサンガ?

**律子** : サッカー部でわ最後の大会のとき 好きな女の子から手

作りのミサンガもらうと勝てるっていう、伝説が

あるじゃんねえ

**小梅(パパ)**: 頼まれてないし そんな関係じゃない

**律子**:何言ってんだよ ミサンガは彼女の務めだよ、ちゃんと

ヒモ つけとかないとね

美佳: 先輩にとっては最後の試合の記念になるわけだし

小梅(パパ):記念ねえ...

パパ(小梅)はミサンガがまだ作ってなかった。パパ(小梅)の体には小梅ちゃんじゃなくて、パパの命が入っているかる。ミサンガが全然分からないし、作れない。パパ(小梅)の友達はこのミサンが記念のために大切なものだから、必ずきにつけておかないといけないと言った。

この会話では擬態語「ちゃんと」はミサンガを必ずつけるという意味を表 わす。動作をすると整理するという意味。

#### 4. しっかり

しっかりの意味は確実で安心できる様子。「~している」の形で信頼できる誠実を表す(阿久津智、1994:59)。

会話(4)

**先生** : 地理は8点、科学は0点、ほかもご覧のとおりすべて

赤点です...学年順位は210人中...210番

ママ: 最下位!?

小梅(パパ):ママッ しっかり

パパ自分で話す(こんな答案 小梅に見られたら 親としての面目丸つぶれ 急ごう)

**小梅(パパ)**: 先生 私, これから頑張ります 追試だって受けます というわけでこのへんで失礼します.

パパ(小梅)とママと小梅(パパ)は学校で面談している時、先生に試験の成果を説明を考えてもらった。ママはその説明を聞て大変にびっくりした。小梅この間は頭がいい生徒だったが、今回小梅(パパ)は学年順位は210人中の生徒から210番目になった。それを聞いて、パパ(小梅)は小梅(パパ)に「しっかり」と言った。それで小梅(パパ)は先生に「これから頑張る」と言った。

この会話では擬態語「しっかり」は「心を強くして」という意味。

5. ちゃんと

*ちゃんと*の意味は基準や規則にあっているようす。確実でまちがいがない 様子(阿久、1994:59)。

会話(5)

**小梅(パパ)**:おいちょっと小梅!

**パパ(小梅)**: パパの体ちょっと走っただけですぐ疲れる

小梅(パパ):すまん...

**パパ(小梅)**:元に戻りたい

**小梅(パパ)**:小梅ミサンガはパパが渡してやる、ちゃんと かわいく

愛想よくふるまってやるから だから...

パパ(小梅):いいッ 自分で渡す

**小梅(パパ)**:自分でって...

パパ(小梅):パパには迷惑かけない、ミサンガは自分で渡したい...

パパ(小梅)は他の女性が健太先輩にミサンガをわたすのを見た。それを 見て、走て泣いてる。、パパ(小梅)は悲しくなってきて、小梅(パパ) 「ミサンガはパパが渡してやる」と言った、ちゃんと かわいく愛想よくふ

るまってやると言ったはけど、パパ(小梅)は自分でミサンガを作って、自 分で渡したいと思った。しかしパパ(小梅)は体がパパの体に入ったからそ れは無理だと考えた。

この会話では擬態語「ちゃんと」がよくしてると言う意味。

6. うんざり

うんざりの意味はもうこれ以上はいやだと思う様子(阿久、1994:13)。 会話(6)

**ママ**:何それ...

パパ(小梅):ママ...

ママ:何でパパがこんなの持って...パパ...編んでるの?やっぱり西

野さんって人と関係あんの?

パパ(小梅):いや それは...

**ママ** : あなた!

パパ(小梅):だって私 小梅なんだもん しょうがないじゃん!もう

こんな生活 うんざりだよ!

ママ: うんざりって…そんな~!

パパ(小梅):ママ?うんざりって...ママにうんざりって

ことじゃなくて...

ねえママ?ママ…誤解だよお

ママ: 今日…何の日だが覚えてる?

パパ(小梅):何の日って...ママの誕生日 結婚記念日

おじいちゃんの命日?麻布十番祭りの日?...

**ママ** : もういい

パパは(体の中に葉小梅ちゃんの命入れる)は部屋でミサンガを作るときにママが見た、ママは本当にびっくりして、西野さんのために作るのかと考えた。パパは(小梅)なかなか体が戻らないからだんだんそう思ったら「うんざり」と言った。ママがその言葉を聞いて怒った。ママは、自分に対して「うんざり」と思ったが、パパ(小梅)は体が入れ変わった生活に対して「うんざり」と言った。

この会話では擬態語「うんざり」はすっかり飽きていやになったことを表わす。

### 7. きちんと

きちんとの意味決められたとおりに整然としている様子(日比、1989: 49)。

会話 (7)

**パパ(小梅)**: どうしたら...元に戻れるんだろうな

小梅 (パパ) : えッ?まず入れかわったときのことをも一度*きちんと* 

検証しよう

パパ(小梅):おばあちゃんが危篤になって

小梅(パパ):それから翌日一緒に始発電車に乗って

パパ(小梅):パパと一緒に電車に乗るなんて

パパと小梅ちゃんは小梅ちゃんの部屋でどうやって元の体に戻れるかを方 法の計画ことを話している。

入れ替わった出来事の時に思い出したりおばあさんの言った事をおぼえた りして、

パパはどうすればいいかと二人はその話をしている。

会話の擬態語「きちんと」の意味は入れかわったときのことをととのたいという意味。

### 8. ダラダラ

ダラダラの意味は動作にきんちょうガなく、だらしない様子(阿久、 1994:36)。

### 会話(8)

**小梅(パパ)**:ご機嫌だね

**ママ** : やだわ そうやってる戸パパみたい

小梅(パパ): えッ?

**ママ** : ダラダラ してないで、ちゃんと 課題やるのよ

せっかく先生が追試にしないでくれたんだから

小梅 (パパ):は~い

ママと小梅(パパ)が家にいるとき、ママはハミングしながらいすと机の掃除をして、それからパパ(小梅)は来て、すぐソファーに横たわった。この横たわるのはパパとよく似ているようす。ママはそれを見て「ダラダラしてないで」と言った。

この会話では擬態語の「ダラダラ」は、怠けると同じ意味である。のんびりする様子。ゆっくりと同じ意味。

#### 9. ちゃんと

(会話 8) の *ちゃんと*の意味は基準や規則にあっているようす。確実でま ちがいがないようす (阿久、1994:59)。

会話(8)ではに擬態語「ちゃんと」の意味はよく座る様子。よく座る様子。

### 10. とっとと

とっととの意味は即座に、急いで歩くようす(日比、1989:57)。

# 会話 (9)

中島 : ここからは気持ちですよ 気持ちで勝つしかないんです これ待ってお願いします 行きましょう

**パパ (小梅)**:「めんどくさいなわ *とっとと* ハンコもらって *とっとと*帰るんなきゃ」

西野:あの私..

奥様には大変申し訳ないと思います

小梅(パパ): えッ?

: あッ西野さんもい言ってた

**小梅(パパ)** 自分で話す:「プロジェクトが大変で家庭を犠牲にしてるから」って

パパ(小梅)は午前もうすぐ家へ帰らなければならないし、でもハンコももらわなければならないから早くしなければなりません。それはめんどくさいと言った。

この会話の擬態語 とっととの意味は「とっと」は「疾(と)く疾(と)くと」の 転〕はやく急いでやるのである。

### 11. メチャクチャ

メチャクチャの意味はこわれたり、乱れたりしていて、ふつうではない様子 (阿久、1994:86)

# 会話 (10)

中島 : これ桜木部長のハンコだけでしょ

次に森山常務のハンコもらわないと

中島:承認にならないですよ

パパ(小梅):森山常務?

森山部長: 君の発言は生産性がないようだが何かアイデアは

あるのか?

**小梅 (パパ)** 自分で話す:「メチャクチャ手ごわそう…ああ早く

帰らなきゃいけないのに一」 ごゆっくりどうぞ

西野: 奥様は幸せですよね ステキなだんな様に かわいい

娘さんに 広いお家 いいなあ 私は奥様と入れ

かわりたいな...

小梅(パパ):えッ

ママ: 私だって 西野さんと要れかわりたいわ

西野さんは家にきたとき、西野さんはママと入れ変わりたいと言った。奥様になると幸せになるそう、ステキな旦那様で、可愛い娘さん、広いからである。パパのことに好きだから ママと入れ変わりたいと言った。小梅(パパ)はメチャクチャ人生をしたくないから、早く帰ってほしい。それにパパは"そんなにメチャクチャこと"と言った。

会話の擬態語「メチャクチャ」の意味は非常に混乱した様子。

### 12. バリバリ

バリバリの意味は物を勢いよく裂くようす。勢力的に行動するようす(日 比、1989:29)。

### 会話 (11)

西野 : えっと...

パパ: 西野さんだよね?

西野:はい

**パパ** : 秘書室で バリバリ やってきたみたいだから 突然の

人事に戸惑ってるとは思うんだけど…ひとことだけ

いいかな?

西野:はい

この会話は8ヶ月前のことである。レインボードリームプロジェクトがは じまるときであった。パパは一生懸命働いた西野さんに「バリバリやってき た」と言った。このバリバリー生懸命仕事をしていたという意味。 この会話の擬態語「バリバリ」の意味は勢力的に行動する。

### 13. ハッキリ

ハッキリの意味はほかとの区別が明らかで、すぐにかわる様子。あいまい さがない様子(阿久、1994:60)。

### 会話 (12)

**律子** : なんで伊豆の旅行いかないの? 約束したじゃん ねえ?

**小関先輩** : うん

**小梅 (パパ)** : ごめん健太先輩が やっぱりやめとこうって...

**律子** : なんで?

小梅 (パパ): 私のこと 大事にしたいからって いまどきなかなか

いない青年だよ

**律子**: それって小関先輩は私を大事にしてないって意味?

小梅 (パパ): いや...え~

**律子** : ハッキリ 言ってよ 親友でしょ!?

**小梅** :分かった ハッキリ 言って微妙だと思うよ

小梅(パパ)は旅行に行きたくないが本当の理由を言っていない。律子ちゃんは本当の理由を知りたい。律子ちゃんは「ハッキリ言ってよ」と言った。

この会話では擬態語の「ハッキリ」の意味は話しをするときにハッキリした返事という意味である。明瞭という意味。

### 14. メチャクチャ

メチャクチャの意味はこわれたり、乱れたりしていて、ふつうではない様子(阿久,1994:86)。

# 会話 (13)

パパ(小梅):健太先輩大会だって 同じ火曜日なんだから それまで二絶対に元に戻りたいよ

**小梅(パパ**):とにかく会社には行ってくれ 桃のことはパパのせい なんだから

パパ(小梅): それに律子のことだって 無神経すぎるよ

小梅(パパ):それは…悪かった

パパ(小梅):健太先輩の態度だって おかしかったんですけど?

**小梅(パパ)**: それは…気のせいなんじゃないかな…

パパ(小梅):ふう~ん

パパ(小梅): とにかく私も一緒に行く 早く戻らなきゃ これ以上 パパにメチャクチャ にされたくないよ パパー人で桃 食べたって意味ないんだからね!

**小梅(パパ**):分かった...

小梅(パパ)は律子ちゃんに怒れたり、健太先輩の態度がおかしかったり、

それから桃を一人で食べたり事をしたから、パパ(小梅)はがっかりしてきた。嫌でめちゃくちゃ都合になってきたらパパ(小梅)が一緒に山へ桃をとる。

会話の擬態語「メチャクチャ」の意味はメチャクチャな都合をする様子。

#### 15. ハラハラ

*ハラハラ*の意味はほかの人や物のようすが危なく見えて、とても心配に思う様子(阿久、1994:17)。

# 会話 (14)

パパ : 「思えば長い修行のような日々の連続 父親としては 会ってはならない屈辱もあった ハラハラ ドキドキの 連続 だがそれがついに終わりを告げようとしている。

**ひろかお祖母さん**: あの桃は…ただ 食べただけじゃ 入れ かわらないんだよ。

パパが自分で考える、日々の連続父親として会っては屈辱もあって、「ハラ」と言った。

会話擬態語「ハラハラ」の意味は軽い物が連続的に散り落ちる様子。 ハラハラしながら見入る様子。

### 16. ドキドキ

ドキドキの意味は激しい動悸がする様子(阿久、1994:16)。

会話(14)ではパパは父親としてはあってはならない屈辱もあってその心の 気持ちを表わして「ドキドキ」と言った。

#### 17. しっかり

「しっかり」の意味は確実で安心できる様子(阿久、1994:59)。

# 会話 (15)

森山社長: その件に関しては 川原君が復帰後に検討するという

ことになるんじゃないのかな?

中島 :はいッ できる限り善処いたします

桜木部長 : しかし発売口まで 2ヶ月をきっているからね

中島: われわれは川リーダーとともに十分 準備して

まいりました 商品展開には自信がありますッ...

どうか ご検討ください

桜木部長 : リスクを回避するためにも 規定路線で計画を進めると

いうことで いかがでしょう?社長

**社長** : (せきばらい)

中島さん :お願いします!我々のプランを認めてください!

みんな:お願いします!

パパ : 会議は?

中島: なんか…なんか…俺じゃ ダメだったみたいんです

**西野**: 中島さんはしっかりプレゼンしたんです...

三船 :結局この会社には 生まれ変わる気なんかないんです

パパは元に戻った。まだ頭が痛かったのに、会議がある。だからパパは走って会社へ行った。しかし会議室に着いたら会議がもう終わってしまった。その会議は森山社長がまだプロジェクトの計画を認めていなかった。みんながっかりした顔見せた。中島さんはもう一緒懸命していたのに、確実に力いっぱいレインボードリームプロジェクを発表したけどやっぱりまだ認められなかった。パパはすぐ社長に合って。そして歩きながらいろいろな未来のプロジェクトについてを説明した。

会話の擬態語「しっかり」の意味は力いっぱい発表したと言う意味。 18. スッキリ

*スッキリ*の意味は困ったことやめんどうなこと、よぶんなものなどがなくなり、気分がいいようす(阿久、1994:21)。

# 会話 (16)

中島: 西野さんさおなかすかない? もしよかったら

これ営業部のヤツにもらったんだ...昼間バタバタしてて

ご飯食べる時間もなかったでしょ...

西野: ごめなさい 私、桃をとりに行くために中島さんの優しさを

利用しました...

中島 : おれ好きな人と一緒に山登るの夢だったらから いや…そう いうんじゃなくて 俺の田舎がさ 近所に山がいっぱいあって さ、失恋するたびに山登ってたんだ。 頂上ででっかい空見上 げてると スッキリした気持ちになってさ でも…またすぐ失恋 しちゃうんだけどね もしよかったらさ また一緒に山登りしない? なんてね、冗談

#### 西野 : おいしい!

会社では西野さんが悲しい頭をしていた。中島さんは会社に桃を持って来て 西野さんにあげた。西野さんは桃をとりに行こうと考えた。中島さんは「おれ好きな人と一緒に山登る夢だったらから」と言った、「頂上ででっかい空 見上げてると問題がなくした気持ちになってさ」と言ったの意味は気持ちがよくなった。それは中島さんの本当の気持ちである。中島さんによって、西野さんが大切な人になった。西野さんは悲しい顔見えるから無情がないになってくる。昼ごはんのときも出かけなかったから中島さんからもらった桃を食べてしまった。

会話の擬態語「スッキリ」の意味はスっきりする、さわやかに様子。頭や心 をスッキリさせると言う意味。よかったと同じ意味。

#### 19. どんどん

どんどん野意味はつづけて大きく変化する様子。次から次へと、何かがつづいたり、何かをしたりする様子(阿久、1994:66)。

### 会話 (17)

お祖母さん : さあ みんあさん どんどん食べて 飲んでくださいね

和香子: これは?あと じゃあ レモンも入れて…はい

かな: あーッ中島さんと西野さんなんか恪しくないですか?

**三船** : レインボードリームカップル 誕生ですか?

中島: やめてくださいよ

パパ : 超ウケル

小梅: ただいま みんなさん いらっしゃいませ

この状態は小梅ちゃんのうちにいる。みんな集めている、会社人と小梅の家族と健太先輩もいる。パパは部長になったから、家で小さいパーティを行なった。いろいろな食べ物や飲み物があったからつぎつぎに食べるようす。

会話の擬態語「どんどん」の意味はどんどん食べて、*どんどん*飲んで、ずっと同じ意味である。つづきに食べることを表わす。

#### 20. しっかり

しっかりの意味しっかり野意味は確実で安心できる様子。「~している」 の形で信頼できる誠実を表す(阿久、1994:59)。

### 会話 (18)

健太先輩:あの...小関は中山のことを真剣に考えてます。

**律子のパパ** : お前もグルか 貴様ッ

小梅: そんなことないよ 律子 大人って結構 子供のこと

分かろうと思ってるんだよ

**律子**: はあ?!

律子: そうやって いつも頭ごなしにとなってばっかり

パパに私の気持ちなんか分かんないよ!

**律子のパパ** : 何だと!?

**小梅のパパ** : まあ 落ち着いて

小梅: そんなことないよ 律子...大人って結構 子供のこと 分か

ろうと思ってるもんだよ

**律子** : へえ?

中島:小梅ちゃん親心語るなんて しっかり してんなあ

小梅:分かりたいけど 分からないから つい どなっかったり

必要以上に心配したりするもんなんだよ

律子のパパ : そうなんだよ

律子さんとお父さんは喧嘩した。彼は別の意見を考えた。それに小梅とパパが入れ替わったときにいろいろな勉強した小梅ちゃんは大人の考えも、分かってくる。パパも子供の気持ちもよく分かった。それから律子さんとお父さんの気持ちはよく分かったから彼は平和にしてあげる。中島さんは「小梅ちゃん親心語るなんて しっかり してんなあ」と言ったことはそれは本当のことだ。しっかり 大人の考えるのは分かったという意味。

会話の擬態語「しっかり」の意味は面談のことは心配しないようにする様子。